



広報

しもつま

Shimotsuma



1
2007
No.609

新”下妻市“

2年目のスタートにあたり

下妻市長 小倉敏雄

新年明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆様方には、輝かしい希
望に満ちた新春をお健やかに迎え
たいこととお慶び申し上げます。

昨年は、新下妻市が誕生し新た
な歴史がスタートした記念すべき
年であり、また私も無投票再選の
栄に浴した年であります。公平・
公正・誠実を基本に決断と実行の
市政運営のもと、市民の皆様方の
負託に応えるべく、これまでお互
いの歴史と伝統と文化を尊重しな
がら速やかな一体性の醸成とそれ
ぞれの地域特性を活かしたまちづ
くりを鋭意努めてまいりました。

きましたことを改めまして厚く御
礼を申し上げます。

また、新年を迎え、行財政改革
の推進をはじめ、保健・医療・福
祉の充実や教育・文化・スポーツ
の推進、又は農・商・工の基幹産
業と観光の振興、そして都市基盤
の整備等々の行政課題が山積する
なか、市政の重責に身の引き縮ま
る思いを致しているところであり
ますが、気持ちを新たに新市建設
計画に定められた「都市と自然が
共生し安全で快適なまち下妻市・
人と人が活き活き輝くまち下妻市
づくり」に誠心誠意、取り組んで
まいりたいと思っております。

顧みて昨年は、全国的に児童生
徒を対象とした凶悪な犯罪や親が
子供に対する児童虐待、そして子
供たちが「いじめ」により自殺に

まで発展する問題等、幸せな出来
事よりも胸が痛むような事件が多
く、命の大切さが問われた年でも
ありました。

子供たちを取り巻く環境は、私
達子供の頃は大きく変化してお
り、現代の子供たちの意識や行動
にも様々な影響を及ぼしているも
のと考えております。特に家族の
変化として1950年代と比較し
三世帯世帯は45%から9%に激減
するなど、核家族化や少子化の著
しい進展などにより家庭環境が大
きく変わり、子供たちにとって一
番の心の拠り所としての家庭環境
が崩壊の危機にあるのではと憂慮
しているところでございます。

こうした暗い世相ではありません
が、幸い本市におきましては全
国中学校軟式野球大会に東部中学
校と千代川中学校の二校が出場す
る大会史上初の快挙を成し遂げる
と共に、全国中学校選抜水泳競技
大会に千代川中学校が、また20
06年近代五種ジュニア世界選手
権大会・東日本学校吹奏楽大会に
下妻中学校の生徒がそれぞれ出場
するなど、21世紀を担う本市の子
供たちの輝かしい活躍に大変心強

く思ったところでありました。

また、国にあつては秋篠宮悠仁
親王殿下のご誕生といった誠にお
めでたく心が和む出来事があり、
親王殿下のお健やかなご成長と幾
久しい御皇室のご繁栄を心よりお
祈り申し上げます。

さて、西暦2007年亥年へ
の期待と抱負であります。国内
経済は企業収益の改善が進み雇用
情勢も好転傾向にあることなどか
ら、戦後最長と言われた「いざな
ぎ景気」を超えた景気の拡大期に
入っているとされております。

しかしながら地方においては、
景気回復を実感できるまでに至っ
ていないのが実情かと思っております。
ですので、景気回復の恩恵を一日
も早く享受できるように元気の
年であつてほしいと期待してお
ります。

また、地方自治体におきまして
は、著しく進展する少子高齢社会
への対応をはじめ、国が進める構
造改革に伴う地方分権の推進や三
位一体の改革など様々な制度改革
が行われ大きな転換期を迎えてお
ります。特に三位一体の改革では、
地方自治体に対する税源移譲が思



歴史・伝統・文化を尊重しながら 地域特性を活かしたまちづくり

うように進んでいないことから、
本市におきましては最も基幹的な
歳入である地方交付税の大幅削減
などにより、大きな歳入不足が生
じ大変厳しい行財政運営を余儀な
くされているところでございます。

そのため、庁内に行財政改革推進
本部・財政健全化調査委員会を設
置すると共に、市民代表者からな
る行政改革懇談会や財政健全化検
討委員会などを設置し、多くのご
意見、ご提言をいただくなかで、
よりスリムで効率的な行財政運営
に取り組み、かつ多岐・多様化す
る市民ニーズへの対応や市民サー
ビスの維持・向上を図るためにも
財政体質の健全化と財政基盤の強
化に向けた第3次下妻市行政改革
大綱に基づく行財政改革を更に推
進してまいりたいと思っております。

また、厳しい財政状況下ではあ
りますが、これからは地域間競争
の時代とも言われており、いかに
自治体の活力を生み出していくか
が問われているところでもあり、
こうした課題に対応するためにも
新市建設計画に定められた各種事
業について、合併特例債の有効活
用なども図りながら、更なる市勢
の発展と市民福祉の向上に努めて
まいりたいと思っております。本年
も市議会議員をはじめ、市民の皆
様方より一層のご支援・ご協力を
賜りますようお願いを申し上げます。

むすびに、市民の皆様方にとり
まして西暦2007年が健康で良
い年であることを、心よりご
祈念申し上げ年頭のごあいさつと
致します。

CONTENTS

- 2 新下妻市2年目のスタートにあたり
- 4 それぞれのふるさとの誇りを胸に
下妻市と千代川村が合併して1年
- 6 それでもあなたはしますか
すべてを失う 飲酒運転
- 9 まちのわだい
- 14 新下妻市の歴史再発見
- 15 博物館収蔵・口頭詩・市民文芸
- 16 広報しもつま・下妻市ホームペ
ージに掲載する広告を募集しま
す
- 17 健康ちょっと一言
気をつけましょう。ノロウイル
ス発生急増中!
- 18 健康カレンダー
- 19 おめでた・おくやみ
編集デスク
- 20 わがやのにきもの
さわやかリレー

今月の表紙



市内の法泉寺保育園の園児
たちが餅つきにチャレンジ。
お友だちが、杵を大きく振り
上げると、「よいしょ!」と
大きな声援をおくる園児たち。

自立したまちづくりのページが開かれました このまちで育つ子どもたちの胸に

合併後1年を振り返る

下妻市と千代川村がひとつになり、新しい下妻市としての歴史がスタートし1年が経ちました。新しい下妻市の将来像は、市民のみなさん一人ひとりの手と情熱が重なり、心をひとつにし、「都市と自然が共生し安全で快適なまち・人と人が活き活き輝くまち下妻づくり」を目指すためにも、市民のみなさんのそれぞれの誇りと希望を胸に協働のまちづくりを進め、私たちの住む地域の歴史や伝統・文化を愛し育んでいきたいと思います。合併してからの1年間でスナップ写真で紹介します。



◆成人のついで 合併後初となった成人のついでには、艶やかな振袖に身をつつみ、旧友との再会に喜ぶ笑顔がいっぱいでした。

◆伝統芸能祭 力強いハチさばきは、みなさんに大きな感動をあたえました。

◆千人おどり たくさんの市民のみなさんが踊り、沿道をうめつくしました。

◆種まき&さつまいも掘り大会 秋には、鬼怒川ワイルドでたくさんさつまいもが採れました。

それぞれのふるさとの誇りを胸に
下妻市と千代川村が合併して1年

それでもあなたはしますか すべてを失う 飲酒運転

“少しくらいの酒なら酔わないから...”と飲酒運転をする人もいますが、少しくらいの飲酒でも判断力や注意力、運動能力が確実に低下します。安全運転上大きな障害をもたらす、重大な事故を起こす原因になります。この行為は、大変危険な“犯罪行為”です。また、自分が飲酒運転をしなくても、運転者に飲酒運転をそのかしたり、飲酒運転をおこなうことを認識しながら車両を貸したり、酒類を提供する行為があった場合は、飲酒運転の共犯として運転者と同様に刑事責任が問われます。

年が明けると、新年早々の新年会。“少しか飲んでいない”、“自分だけは事故を起こさない”などと思い、ハンドルを握るのは大きな間違いです。“飲んだら乗らない”、“乗るなら飲まない” 私たち一人ひとりが守り、飲酒運転を追放しましょう。

知ってっぺ! 飲んだら乗るな 忘れんな



飲酒運転の実態

平成17年以前の3年間の平均概数

■ 死亡事故の9件に1件が飲酒運転事故
毎年全国で発生する死亡事故のおよそ11パーセントが飲酒運転によるものです。

■ 死亡事故の発生率が高い
飲酒運転による事故は、およそ20件に1件が死亡事故となっており、飲酒なしの事故と比較すると、7倍以上も高くなっています。

■ 酔いの自覚がない“軽度の飲酒”による事故が圧倒的に多い
飲酒運転による事故の9割以上、その死亡事故の7割以上は酒気帯びなどの軽度の飲酒によるものです。

■ “酔っていない”と思っていた人が多い
飲酒運転や事故で処分を受けたドライバーを対象にした意識調査の結果、“酔っていない”と思っていた人が4割を占めています。

■ 運転者は
ルトを着けていれば助かった可能性があります。



運転者は

■ 夕暮れ時、早めのライト点灯で自車の存在を歩行者等に知らせましょう。
また、対向車や先行車がない場合は、ライトを上向きにして障害物の早期発見に努めましょう。
■ 交通量が少なくても油断は禁物です。歩行者や自転車の動きには十分注意しましょう。

多く、次に、水戸市・筑西市の16人となっています。地域別では、県西が74人と最も多く、次に県南の62人です。下妻警察署管内でも下妻市6人、八千代町3人の尊い命が失われています。

どのような事故が多いのでしょうか

県内の交通事故の特徴

■ 飲酒運転が伴う事故は約12パーセント、無謀運転によるものは約40パーセント、これらが原因での事故が過半数を占めています。
■ 事故の類型では、“車両対人”中の“横断中”が約18パーセントで最も多く、次いで“車両相互”中の“出会頭”での事故が多く発生しています。
■ 昼夜別では、夜間が約60パーセント、時間帯別では、18〜20時が約15パーセントを占めています。
■ 年齢層では、65歳以上の“高齢者”が約40パーセントと最も多く、次いで16〜24歳の“青少年”が17パーセントとなっています。
■ 四輪者乗車中の死者のうち、約6割がシートベルト非着用となっており、うち約4割の方がシートベ

■ 体内アルコール濃度が呼気1ℓ中0・15mg〜0・25mg未満
または血液1ml中0・3mg〜0・5mg未満の場合 6点
酒気帯びの呼気検査拒否 30万円以下の罰金

危険運転致死傷罪（刑法）

■ 人を死亡させた場合 最長20年の懲役
■ 人を負傷させた場合 15年以下の懲役

みんなで追放！ 飲酒運転

家庭では 家族に飲酒運転をさせない
車で来た客には酒類を出さない
職場では 二日酔いなど飲酒の影響が残っている者には、運転させない
飲酒を伴う会合などには、車を運転していかない

飲酒運転の罰則

酒酔い運転 3年以下の懲役または50万円以下の罰金
違反点 25点（即、免許取り消し）
酒気帯び運転 1年以下の懲役または30万円以下の罰金
違反点 13点
■ 体内アルコール濃度が呼気1ℓ中0・25mg以上
または血液1ml中0・5mg以上の場合 13点



県西地域

交通事故多発

■ 県内の交通事故による死者数は、12月17日現在、古河市が18人で最も

まちのわだい

市内でおこなわれた各種行事や地域の話など…
みなさんからの情報をお待ちしています。

(秘書課 広報広聴係 内線 1212)

第48回茨城県統計大会が、12月5日、県民文化センターでおこなわれ、長年にわたり各種統計調査業務の発展に貢献された6名の統計調査員のみなさんが表彰を受けました。

12月19日には、受賞報告に市役所を訪れ、小倉市長からねぎらいの言葉を贈られました。統計調査は、担当地区の一軒ずつに調査票への記入をお願いして取りまとめる大変な仕事です。今後も実施される国や県の各種統計調査には、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

茨城県知事表彰
吉川 儂さん (長塚)
山口 貞子さん (下妻甲)
脇田 仁さん (砂沼新田)

茨城県統計協会総裁表彰
稲川あき子さん (下妻戊)
山中 正隆さん (下妻乙)
松田 静さん (田下)



後列左から稲川さん、山中さん、松田さん
前列左から吉川さん、山口さん、脇田さん

受賞おめでとうございます

茨城県統計大会で表彰



子育ての実体験が話されました

12月3日、市立図書館で約90名が参加するなか、元朝日新聞記者で現在フリージャーナリストの久保谷洋氏を講師に招き、「実体験からの男女共同参画ーお父さん記者の育児日記ー」と題して講演会が開催されました。

久保谷氏は、記者時代に朝日新聞社内の男性で初めて、長期の育児休暇を取得し、その経緯と子育ての実体験について話されました。「記者をしていた方が良かったと思うくらい子育ては大変だったけれど、その分喜びも大きかった、初めてしゃべった言葉が「パパ!」だった。その時は本当にうれしかった。男性も、ぜひ積極的に育児参加をして欲しい」との話に会場内の参加者のみなさんは、大きくうなずきながら、熱心に耳を傾けていました。

男女共同参画社会をめざして

講演会「お父さん記者の育児日記」

歩行者・自転車は

歩行者や自転車側にも注意すべき点が多く見受けられます。

■道路を横断するときは、必ず安全確認をしましょう

”赤信号 ちよつくら待ったら 青だつぱ”

■自転車は早めのライト点灯、歩行者は明るい服装で反射材を着用しましょう

”付けっぺよ

夜道の守り 反射材“

高齢者の事故防止

”危ない場所“だと思っていたけれど

安全確認は他人まかせ!

■事故にあった高齢者の約半数は、事故の発生場所を以前から”危ない“と認識。このうちの約8割は”危ない場所“だと認識していても、安全を確認しなかったため、事故にあっています。

■事故にあった高齢者のうち、歩行者の約5割、自転車の約6割が、”相手が気をつけてくれると思うた”、”車が来るとは思わなかった“



などと都合良く判断し、自分で安全を確認しなかったために事故にあっています。

”よかつぺと

無茶な横断 怪我のもと“

”危ない“と思う場所では、必ず安全確認を

茨城弁交通安全川柳は
県安協コンテスト優秀賞作品です

母の日、私の娘たちは、
律儀に母親への贈り物を
欠かしたことはなかった。
「お母さん、今年はどうなバラか
楽しみにしててね」
バラの好きな私に、
それはうれしい贈り物だった。
けれども、飲酒運転の暴走車が
未娘の命を奪ったその年から、
バラの贈り物は届かなくなった。

飲酒運転事故 被害者遺族の声

飲酒運転、みんなで追放

「あの幸せな時間は、どこにいつてしまったんだろう。あのかわいいみづほは、どこに隠れているのだろう。こんなにたくさんバラの贈り物を、

私の手元に残したままで・・・」

どうかみなさん、

突然、母の日の贈り物が届かなくなった母親の痛みをあなたの心に留めてください。

飯田 和代

※飯田さんは、平成9年1月に飲酒運転事故で二女を亡くし、現在、NPO法人MADD JAPAN(飲酒運転に反対する母親の会)代表として、飲酒運転の撲滅に向けた活動をおこなっています。



考えよう
税金納める
大切さ

千代川中学校 3年
高井 彬さん



税金は
みんなを支える
大きな柱

東部中学校 3年
荒井 麻美さん



広げよう
一人ひとりの
納税意識

下妻中学校 3年
塚本 琴美さん

■下館税務署長賞
標語の部



自分を振り返って

下妻中学校 3年
平出すみれさん

■全国納税貯蓄組合連合会
優秀賞



税金は
優しさの心から

下妻中学校 3年
矢口 真弓さん

■財団法人 大蔵財務協会理事長賞
作文の部



中学生の税に関する
作文・標語コンクール



「正しく納税」
明るい未来の
夢そえて

下妻中学校 1年
鈴木みなみさん



国民の税
明るい未来を
築くため

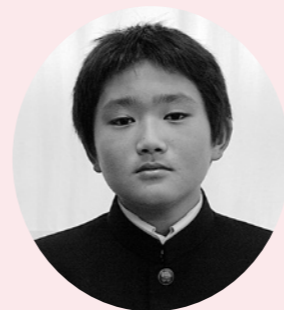
千代川中学校 2年
沖崎 梨奈さん



税金は
明るい未来
咲かす種

東部中学校 3年
板橋 瑞希さん

■下館税務署管内租税教育推進協議会長賞



税金と学校生活

東部中学校 2年
阿部 将幸さん



私たちが
生きていくために

千代川中学校 3年
菊地 美咲さん

■真結納税貯蓄組合連合会長賞

みなさんから納めていただいた市民税や固定資産税をはじめとする税は、福祉、教育、道路など広い分野にわたり、大切な財源として使われています。国税局や全国納税貯蓄組合連合会では、税について多くの方に理解を深めてもらうとともに、次世代を担う生徒のみなさんに税金の重要性を知ってもらうと、中学生の税に関する「作文・標語」コンクールを実施しています。今回、市内の中学生10名が入賞されましたので、ご紹介します。



市民ホールでの開票作業

12月10日、茨城県議会議員一般選挙(結城郡選挙区)が、市内10投票所でおこなわれ、投票率は44・15パーセントでした。即日開票の結果は、次のとおりです。

	飯野しげお	国府田としみ	投票率
旧千代川村	2,481票	794票	44.15%
旧石下町	8,245	1,074	49.96
八千代町	3,494	4,905	44.87
結城郡計	14,220	6,773	46.86

茨城県議会議員一般選挙 おこなわれる

また、体験コーナーでは、お茶のお点前体験や、竹細工・折り紙・バルーンアートなどのおもちゃ作りがおこなわれ、たくさんの方の参加でにぎわいました。

下妻市文化祭が10月22日から11月20日まで、千代川公民館・下妻公民館・市民文化会館など9会場で開催され、期間中、大勢の見学者でにぎわいました。今年の文化祭は、下妻・千代川両会場とも参加者自らが企画・運営・会場準備をおこなう住民主導型の文化祭として開催。発表部門では、お囃子・民謡民舞・合奏・合唱など24団体が発表をおこない、「展示部門」では、児童生徒の作品や絵画・書道・写真・手工芸など6千点を超える作品が展示されました。日頃の成果を発表する場とあって、迫力のある発表や、手の込んだ力作が目立ちました。



たくさんの方の参加でにぎわいました

日頃の成果を発表 力作が勢ぞろい 下妻市文化祭が開催



さまざまな体験活動を重視

下妻中学校では、平成15年度から、キャリア教育の重要性に着目し、「望ましい職業観・勤労観を育てる指導の在り方」というテーマを設定し、研究と実践をスタートさせています。

同校のキャリア教育の特色ある取り組みは、「キャリア教育総合単元」を設けて学校行事、総合的な学習の時間、学級活動、道徳、さらには各教科にまで広げ、教育活動全体を通して、望ましい職業観・勤労観を育てるとともにさまざまな体験活動を重視し、生徒自身が自らのあり方や



保育園で子どもたちといっしょに遊ぶ女子生徒

生き方を考えていけるような実践をおこなっています。

そうした研究の取り組みが認められ、去る11月25日、東京ビッグサイト国際会議場で、文部科学大臣表彰を受けました。

表彰式に出席した富岡校長は、「この4年間のキャリア教育の継続実践が、生徒の望ましい職業観・勤労観を育成するためのひとつの方向性を示す研究実践になっていることが認められたもの」と受賞の喜びを語ってくれました。

総合的な学習の時間の成果を披露

蚕飼小学校で野菜づくり



収穫した野菜が給食に

で配布したりと、地域のみなさんとの交流を図ってきました。

また、白菜やブロッコリーなどの苗を中村前校長からいただき、冬野菜にチャレンジ。収穫した新鮮な白菜を、たくさんのおうちにも、舌鼓を打ってもらおうと、給食センターに提供したものです。これだけでも、自分たちで消費するだけでなく、ボランティア団体や自校給食の学校にも提供し、みなさんとの交流を図っていききたい」と話してくれました。



新鮮な白菜が給食のメニューに

11月25日、県立並木高等学校を会場に創造ものづくり教育フェアがおこなわれ、東部中学校から「あなたのためのおべんとうづくり」コンクールに出場し、全国大会の出場権を獲得しました。また、12月3日、山梨県でおこなわれた関東甲信越大会で、アイデアロボットコンテスト部門に出場し、優勝・3位入賞し全国大会には2チームの出場権を得ることができ、2部門とも素晴らしい快挙となりました。

この大会は、全国の中学生が競技会や作品展をとおして、「ものづく



心を込めて料理するお弁当づくり

“あなたのためのおべんとうづくり”創造アイデアロボットコンテスト東部中学校全国大会出場

全国中学生創造ものづくり教育フェア

り学習”の成果を発表し表彰することにより、ものを創る喜びを味わう機会とするとともに、「ものづくり」への関心・意欲を高揚させることが目的で、今年で7回目を迎えるものです。

東部中学校では、3年生の選択技術授業の一環として、被服、保育、調理や、ロボコンコースを開設し取り組んでいます。県西地区大会、県大会、関東甲信越大会と勝ち進み、「ロボットコンテスト」、「あなたのためのおべんとうづくり」の2部門とも、1月27日・28日におこなわれる全国大会に出場します。これまでの成果を十分に発揮してください。



アイデアにあふれたロボット

キャリア教育で文部科学大臣表彰

下妻中学校が受賞

下妻勢、男女アベック優勝

ミニバスケット県選手権大会

ミニバスケットボールの茨城新聞社杯第34回県選手権大会が、11月23日から26日までの4日間、水戸市の県立スポーツセンターでおこなわれました。

最終日の11月26日には、男女の決勝がおこなわれ、男子は、下妻ジャスティスJrが初優勝、女子は、下妻MBCが9年ぶり2度目の栄冠に輝き、男女とも下妻市内のチームが制しました。男子初優勝の下妻ジャスティスJrの川辺主将は、「みんながひとつになつてつかんだ優勝です」とさわやかな笑顔で応えてくれました。

また、県西地区同士の対戦となった女子決勝は、「今日こそ勝つ番」と、チーム全員が雪辱に燃えつかんだ勝利。今まで勝つことがない相手だったので、本当にうれしい。次は全国大会出場を目指します」と飛躍を誓う選手のみなさん。おめでとうございます。

男女両チームともに群馬県で開催される関東大会に出場します。



男女両チームとも関東大会に出場します

温かい善意

越戸まつり実行委員会

越戸まつり実行委員会から、福祉のために使ってくださいと5,524円の寄付がありました。ありがとうございました。

新下妻市の歴史再発見

Vol. 13

古墳時代の集落

今回は下妻市内で調査された古墳時代の集落遺跡について紹介します。

下栗の野方台遺跡は下妻台地最南端の島状に独立した台地上に立地し、工場建設に先立って広範囲にわたる発掘調査がなされています。調査の結果、古墳時代を中心とした集落遺跡であり、旧石器時代から近世までの長期間



野方台遺跡東調査区全景

に及ぶ複合遺跡であることが判明しました。野方台遺跡からは、三〇〇軒を超える住居跡が発見されていますが、そのほとんどが重複してしま

つて同じ場所に何度も住居が建て替えられたことを物語っています。

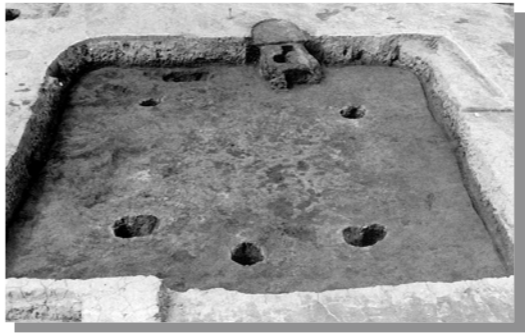
野方台遺跡では前初期頭(4世紀初頭)から集落が営まれたと考えられ、その後、古墳時代を通して平安時代ま

で集落が継続します。

古墳時代の住居跡

古墳時代の住居は竪穴式住居で、平面形態は方形または隅丸方形をしています。竪穴の深さは30〜40cmを計測し、大きさは小さくても5〜6m四方のものが一般的です。

野方台遺跡からは、一辺が10m前後を計測する大型住居跡が7軒確認されています。古墳前期が4軒、中期が1軒、後期が2軒です。これらは集落を統率する有力な豪族



古墳後期の竪穴式住居(野方台)

の住居跡と考えることができます。

住居の床は踏み固められて土間となり、多くは4本の柱穴が確認されています。古墳時代中期までの住居では中央部付近から煮炊きや暖をとった炉が見つかりますが、後期になると炉に代わってカマドが備えられるようになります。カマドは、砂を混ぜた粘土で築かれ、多くが竪穴の北側の壁面から発見されます。カマドの出現により住居内の空間利用や、調理のための燃焼効果などの面で、大きな変革をもたらされたと思われます。

古墳時代の遺物

野方台遺跡からは数多くの土器が出土しています。古墳時代の土器には、土師器と須恵器があります。土師器は弥生土器の系譜をひく素焼きの土器です。須恵器は灰色をした硬質の土器で、ロクロを使用した成形され、登り窯で焼かれています。この技術は5



土器の出土状況(野方台)

世紀の半ば頃に朝鮮半島からもたらされたものです。土器の器種には貯蔵用の壺や甕、煮炊きに使用した甕や甑(蒸し器)、食物を取り分けた鉢や椀、お供え用の器台や高坏など様々です。

ほかにも様々な遺物がありますが、祭祀具として、いわゆる「三種の神器(玉、鏡、剣)」を模倣した勾玉、有孔円盤、模造剣があり、滑石製のものや土製のものがいくつか見つかります。また、鉄製品として馬具が出土しており、馬が飼育されていたことが推察されます。(生涯学習課文化係)

(生涯学習課文化係)

Series

ふるさと博物館収蔵資料紹介 ④ 板碑(小野子地区出土)

本資料は、板碑と呼ばれる石造の供養塔で、亡くなった人の菩提を弔う追善供養や生前に自分の死後の供養をすましてしまう逆修供養などを目的として造立されました。

本資料に刻まれた文字から、この板碑の造立者の信仰対象が阿弥陀如来(梵字で阿弥陀如来(キリク)を表す種子が刻まれている)であることや、文明十一年(文明十年(一四七八)から文明十八年(一四八六)まで)に作られたこと、加えて、道□□□という法名の方が、前述の逆修供養を行うために造立したことが分かります。

また、本資料の石材には、埼玉県秩父地方の荒川流域で産出する緑泥片岩が使用されています。板碑の原材料である緑泥片岩がどのようにして下妻まで運ばれてきたのかは不明ですが、陸路はもろろんのこと、河川など水運を利用した割合がかなり大きかったとも考えられ、当時の物資流通の様子を知る手がかりにもなります。



口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



あまがさ

澤邊 一輝 4歳9か月(ちよかわ幼稚園)

あめがふつてるね

いつきはかさがあがるけれど

いちごは

あつそつか

いちごのかさは

はつぱだね

【解説】その日は雨でかさをさしながら畑へ散歩に行きました。その時雨がいちごにもふりかかり、そこでのかさはつぶやきました。いちごのかさは？としばらく様子を観察し、葉がいちごを守っていることに気付くとうれしそうに「いちごのかさは葉っぱだね」とここにこしながらふり向きしました。安心した様子でした。

採集 母 澤邊 環

わらべうた・あそびランド くさぶえ29集より

市民文芸

俳句

産土の大杉に満つ淑気かな 山本 一步(下妻乙)
いつのまに泣かぬ子となり雑煮箸 塚田三樹子(下妻丁)
懐の奥の銭出る師走かな 市村 清(下栗)

短歌

「上を向いて」口遊みつつ自らを励まし歩む投函の道 横倉 愛子(小島)
中庭の石だたみ添ひの道祖神の碑に白菊の供へてありぬ 飯村八重子(半谷)
見上ぐれば熱れし柚子の実晩秋の日差しをうけて黄に輝きぬ 伊東 豊乃(加養)
嫁ぎ来て諍い勞り四十年還暦も過ぎあきらめのつく 稲葉 節子(加養)

鬼石のつづら坂より見はるかす白き冬桜と木々の紅葉 渡辺 恵美(下妻丁)
三歳で逝きにし息子が夢に來つわが手縫ひせし洋服を着て 谷田部くら(赤須)
豊の秋出荷所隅の黒板に目を逸らしたき白菜市況 坂井 勝美(五箇)
鎮もれる比叡山の延暦寺より流るる読経つしみ拜す 鈴木 澄江(宗道)
広き家の重荷となれど独り住む亡き娘の憶い出断ちがた 田宮 道子(本宗道)

広報しもつま・下妻市ホームページに掲載する広告を募集します

下妻市では、平成19年4月から広報しもつま・市ホームページに広告を掲載できるように「下妻市広告掲載の取扱いに関する要綱」を定めました。県内ではすでにいくつもの市町村で有料広告の掲載がおこなわれており、下妻市でも財源の確保と地元企業の活性化を目的にこの取り組みを開始します。

平成19年4月からスタートする有料広告は2種類です。広報しもつまは毎月1万4,700部発行、3ページの最下段に広告枠を設けます。市ホームページの掲載位置はトップ画面の中の市が指定したところとなります。

- 次のいずれかに該当する広告は、掲載できません。
- (1) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に定める営業に係るもの
 - (2) 政治性又は宗教性のある宣伝に係るもの
 - (3) 意見広告又は個人の宣伝に係るもの
 - (4) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれのあるもの
 - (5) 集团的又は常習的に暴力的な行為等を行うおそれがある組織に関するもの
 - (6) 貸金業の規制等に関する法律（昭和58年法律第32号）第2条に規定する貸金業に係るもの
 - (7) 虚偽、誇大又は紛らわしい表現により誤解又は不利益を与えるおそれのあるもの
 - (8) その他掲載する広告として適当でない認められるもの



健康一言

気をつけましょう。ノロウイルス発生急増中！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、年間を通し発生しますが、11月から増加、冬場の1～2月をピークに流行します。ノロウイルスは手指や食品などを介して、口から感染し腸管で増え、嘔吐や下痢、腹痛などを起こします。手洗いや調理など衛生面に注意し感染を予防すること、患者の便や嘔吐物を適切に処理し二次感染を防ぐことが肝心です。

- 予防方法**
- ① 加熱が必要な食品は中心部までしっかり（食品の中心温度85℃以上で1分間以上）加熱する。
 - ② 手洗いは、石鹸を十分泡立て、ブラシなどを使用して手・指の間・爪まできれいに洗い流水で十分にすすぎ、清潔なタオルなどで拭きます。石鹸自体にはノロウイルスを直接死滅させる効果はありませんが、手の脂肪等の汚れを落とすことによりウイルスを手指からはがれやすくする効果があります。
 - ③ 調理器具の殺菌には、洗剤で十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウム（台所用漂白剤）に浸す、または85℃以上の熱湯で1分間以上の加熱が有効です。

- 患者の便や嘔吐物の処理方法**
- ① 使い捨てのマスクと手袋を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように静かに拭き取ります。床やじゅうたんなどに付着した場合は次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭き取り、再度水拭きをします。
 - ② オムツ等は、速やかに閉じて便を包み込みます。オムツや拭き取りに使用した紙などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。この際、袋の中の廃棄物が十分に浸る量の次亜塩素酸ナトリウム液を入れましょう
 - ③ ノロウイルスは乾燥すると空気中に漂い、これが口の中に入って感染することがあるので、便や嘔吐物が乾燥しないうちに速やかに処理し、その後はウイルスが屋外に出て行くよう空気に流れに注意しながら十分に換気しましょう。
 - ④ 便や嘔吐物が付着した衣類、布団等はウイルスが飛び散らないよう処理した後、洗剤を入れた水の中でもみ洗いし、85℃・1分間以上の熱水洗濯または次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効です。布団などすぐに洗濯できないものは拭き取り、下洗い後、乾燥させスチームアイロンや布団乾燥機など高温殺菌すると効果的です。

■ 広告の位置、規格および掲載料

種類	位置	規格	回数又は月数	掲載料
広報しもつま	最下段 ※募集は、通し枠で3枠、2分の1枠で6枠とします。	通し枠 (42mm×178mm)	1回	15,000円
			3回	43,000円
			6回	80,000円
		2分の1枠 (42mm×88mm)	12回	150,000円
			1回	8,000円
			3回	23,000円
			6回	42,000円
			12回	80,000円
下妻市 ホームページ	広告の掲載位置は、市ホームページのトップ画面で、市の指定する位置とする。 表示方式は、バナー広告とする。			
	規格（1枠）	縦43ピクセル、横138ピクセル、 8KB以内、GIF形式（アニメーション可） 又はJPEG形式	1月	15,000円
			3月	43,000円
			6月	80,000円
			12月	150,000円

○**申込資格** 市内または近隣市町に住所または事業所を有する者。

○**申込方法** 広告掲載申込書に掲載しようとする原稿を添えて、市総務課へお申し込みください。（広告掲載申込書は、市のホームページからダウンロードするか、総務課に用意してあります）

○**申込締切** 平成19年2月20日（火）

申し込み・問い合わせ先
市総務課
〒304-8501 下妻市本城町2-22
☎0296-43-2111
ホームページ www.city.shimotsuma.lg.jp

消費生活情報

相談室の窓から

相談事例

突然訪問してきた業者から、自治体の補助金がでるからと執拗に勧誘され、合併浄化槽設置工事の契約をした。しかし後日、役所に確認したところ申請が出されていないことがわかった。工事の金額が高いことも分かり、話も違うために解約したい。

相談結果

訪問販売での契約であり、浄化槽は特定商取引法の指定商品になっていることから、契約書を交付されてから8日間以内であればクーリングオフができます。また、クーリングオフ期間が過ぎてしまっても、勧誘時に事実と異なる説明をされ、それを信じて契約をしてしまった場合は、契約の取り消しができることになっています。

補助制度は居住する市町村によって異なります。下妻市の場合は補助制度がありますが、このような訪問販売による業者の勧誘を受けた場合は、その場で契約をせず市役所に問い合わせ、補助制度について確認しましょう。また工事の金額についても、他の業者に問い合わせたり、他社から見積りをとったりして、相場について見当をつけることも大切です。

消費生活に関するお問い合わせは：

消費生活センター 筑西分室
☎24・2211 内線2118
・商工観光課 商工係（千代川庁舎）
☎43・2111

わがやのにんぎもの

*このコーナーに掲載をご希望の方は、
秘書課広報広聴係（内線 1212）にご連絡ください。



あいき
小林彩輝ちゃん(江)
～健二・かおりさんの長男～

最近歌を歌うことが大好きで、得意な歌は“はとぼっぼ”。我が家では目覚ましよりも早く“はとぼっぼ～♪”と歌声が響きわたっています。今度は何んか覚えているのかとても楽しみです。元気にすくすくと成長して行ってね！！



そうご
植木爽心ちゃん(堀籠)
～真一・千秋さんの長男～

我が家の“暴れん坊将軍”は、車が好き。特にダンプカー、ショベルカー、消防車、救急車等の働く車にハマっています。歌も好きで、一日中何か歌っている明るい子。妹の面倒も良く見てくれます。優しくたくましい男の子に育って欲しいと思います。



れいな
佐々木玲奈ちゃん(半谷)
～保彦・香澄さんの長女～

元気すぎて男の子のような玲奈。最近はおもちゃを抱っこして遊んだり女の子らしい一面も出てきました。パパとママのマネをしたり、音楽に合わせて踊ったり、日々の成長に毎日驚かされています。これからも健康で元気に、そして優しい女の子に育って欲しいです。

さわやかワレ-

～わたしからあなたへ～

VOL. 13

前月登場の**土屋幸枝**さんからの紹介



右から2番目が須藤さん

大切な仲間

須藤 慎平さん (前河原)

僕は、小学1年生から現在(高校)までの約10年、サッカーを続けてきました。この10年の中で、たくさんの人との出会いがありました。下妻ジュニア少年団のコーチは、僕に自立を教えてくださいました。サッカーの技術面はもちろんのこと生活一般においても、自分でやれることは自分でやる。厳しさの中にも優しく接してくれました。今でも僕は家族のように、悩みを聞いてもらって支えていただいています。先輩たちとともに体験させていただいた関東・全国大会。中

学時代のサッカー部でも、楽しくプレイしよう”とグイグイひっぱって行く先輩たちには学べることがたくさんありました。また、ケガで入院したときも、毎日のように顔を見せてくれる仲間がいました。そして今、高校サッカーには広い地域の新しい仲間が増え、1月の県大会に向けて奮闘中です。小、中、高とサッカーを続ける中で、ひとつのボールを追いかけて、笑って泣いた仲間がいました。仲間たちは人生の宝物です。

広報しもつま平成19年1月号

発行/下妻市総務部秘書課(〒304-8501 茨城県下妻市本城町2丁目22番地) TEL0296-43-2111

Eメール info@city.shimotsuma.lg.jp

下妻市ホームページ www.city.shimotsuma.lg.jp

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています